

知的障害者と認知症

～施設や地域でどのような備えが必要か～

平成31年

日時

1月24日(木)

10:30～16:00

会場

高崎シティギャラリーコアホール

定員 200人

参加費

1,000円

(資料代として、当日会場にてお支払い下さい。)

概要

高齢知的障害者を支援する上で欠かせない視点として、疾病や機能低下に対する予防、早期発見、向き合い方、そして最後の迎え方などがあげられます。今回は、高齢化に伴い認知症に罹患した、又はその疑いのある方々について、その実態と現在取り組んでいる支援の現状を紹介することで、高齢になった知的障害者の健やかな生活を実現するために、私たちにどのような準備をする必要があるか、皆様と考えていきたいと思えます。

内容

○講演

「認知症とともによりよく生きていくために
～当事者とともにつくる暮らしと地域～」

永田 久美子氏 (認知症介護研究・研修東京センター研究部長)

○実践報告

「アルツハイマー型認知症を発症したHさんとの歩み」

認知症ケアチーム 粕谷 明博氏、富弥 拓二氏、佐藤 駿氏
(千葉県社会福祉事業団)

○実践報告

「国立のぞみの園認知症ケア研究チームでの取組」

登坂 庸平、四方田 武瑠 (国立のぞみの園生活支援員)

主催 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園

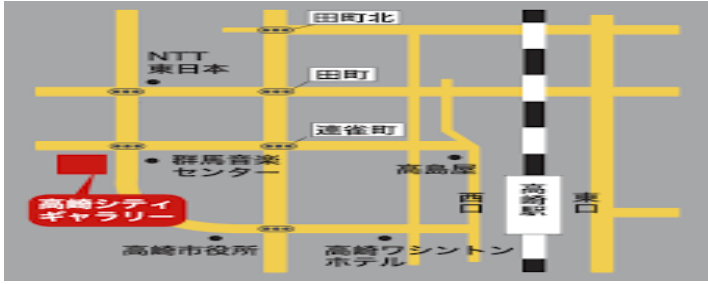
〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町2120-2

URL <http://www.nozomi.go.jp>

後援：厚生労働省、群馬県、高崎市 (申請中)

時間	プログラム
9:30	受付開始
10:30	主催者挨拶 深代 敬久 (国立のぞみの園 理事長)
10:45～	講演 「認知症とともによりよく生きていくために ～当事者とともにつくる暮らしと地域～」 永田 久美子氏 (認知症介護研究・研修東京センター 研究部長)
12:15～	休憩
13:15～ 14:15	実践報告 「国立のぞみの園認知症ケア研究チームでの取組」 ～2009年プロジェクトチーム立ち上げから現在までの経過報告～ 登坂 庸平 (国立のぞみの園生活支援員) ～認知症の診断名別に見た知的障害者の行動の変化と支援～ 四方田 武瑠 (国立のぞみの園生活支援員)
14:20～ 15:20	実践報告 「アルツハイマー型認知症を発症したHさんとの歩み」 粕谷 明博リーダー、富弥 拓二主席支援員、佐藤 駿事務員 (千葉県社会福祉事業団 認知症ケアチーム)
15:20～ 16:00	質疑応答 閉会

【会場へのアクセス】



※高崎シティギャラリー 高崎市高松町35-1 tel.027-328-5050

お申込み先 FAX.027-320-1368

申込み締切日：1月11日(金)

FAXによる申込受付後、受講券を送付させていただきます。なお、申込み締切日以前に定員になった場合はその時点をもって締め切りとさせていただきますので、お早めにお申込み下さい。

【お問合せ先】

国立のぞみの園 研修・養成課 Tel.027-320-1357 担当 新井、浅田

福祉セミナー参加申込書

受付番号

名前：

ふりがな

所属：

参加券送付先 (自宅・勤務先)

該当する内容に○印をおつけください。

〒

TEL：

FAX：

配慮事項：

車椅子

手話

その他

該当する内容に○印をおつけください。